

経営比較分析表

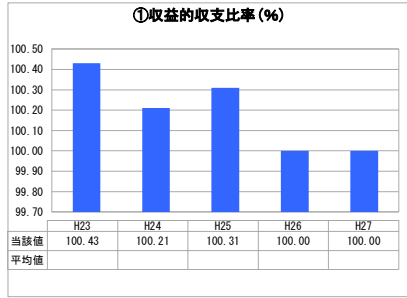
和歌山県 印南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	13.60	100.00

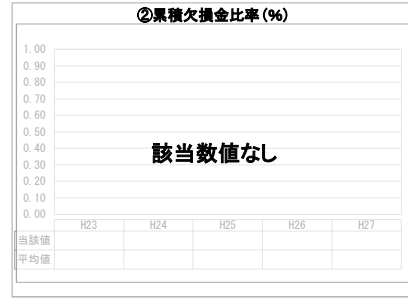
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,626	113.62	75.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,167	0.38	3,071.05

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成27年度全国平均

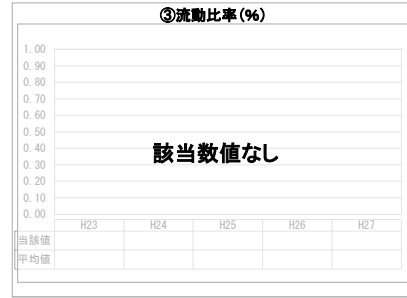
1. 経営の健全性・効率性



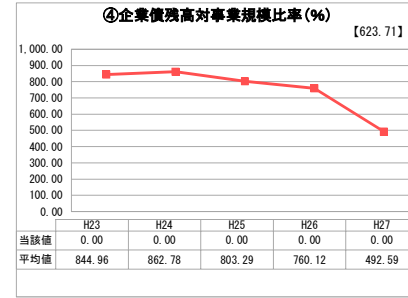
「単年度の収支」



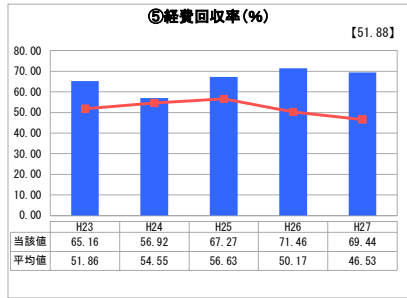
「累積欠損」



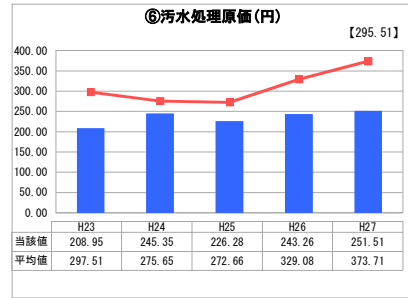
「支払能力」



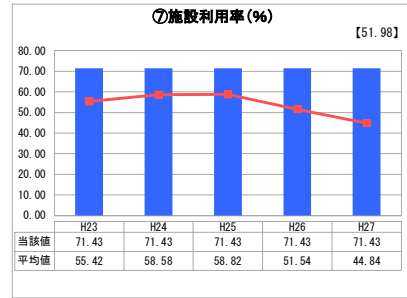
「債務残高」



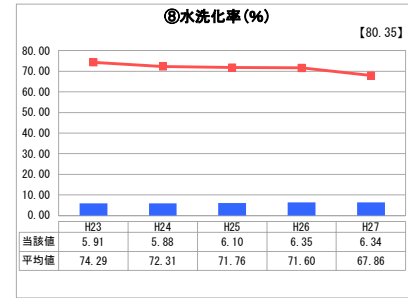
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

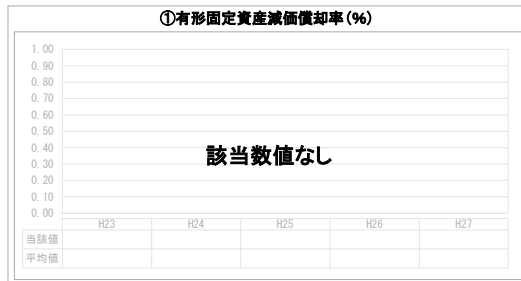


「施設の効率性」

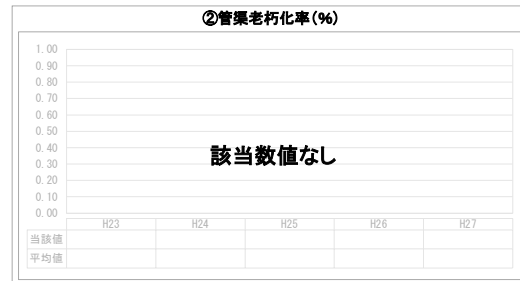


「使用料対象の捕捉」

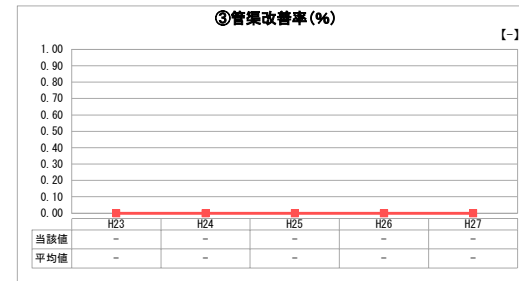
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%である。処理原価が類似団体と比較して低く、回収率も高い結果となっている。しかし一般会計からの繰入を受けているため、処理原価の抑制を図っていく必要がある。ここ数年は事業実施はなく、企業債の新規発行はない。

2. 老朽化の状況について

合併浄化槽による処理形式であり、管渠は整備していないことから改善率は0%である。電気設備については保守点検を実施し、適時交換している状況である。

全体総括

供用開始から約10年が経過し、個々の設備の老朽化が進んでいると考えられる。今後、適切な設備の管理と費用抑制に努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。